

第43回 セルフケア事例検討会 レポート

平成29年9月30日に、いわき市の医療法人済精会長橋病院のデイケア室を会場に、事例検討会を開催しました。参加者は38名で、初めてセルフケア事例検討会に参加した方も多く、フレッシュな顔ぶれでの会となりました。

ミニレクチャーでは長橋病院の方々から家族ケアについて話をしたいと希望があり、「家族エンパワーメントモデル」の紹介を行いました。参加者からは、「家族と信頼関係をつくることや、家族のニーズを把握することの重要性を再認識した。」「今まで、目先の家族教育にこだわっていたが、ちょっとした家族への声かけや、医療者の意識を向けることが大切だと学んだ。」などの意見がきかれました。また、「家族に積極的には関わっているが、それが良いのかわからないことが多かったが、家族エンパワーメントモデルに当てはめると、やっていることと同じで自信になった。」と普段のケアの振り返りをする方もいました。

事例検討会では、身体疾患を期に精神疾患が表面化した事例でした。意思疎通を図るのが難しく、身体症状の観察や精神症状の査定が難しい患者さんでしたが、病棟スタッフの方々は、丁寧な関わりをされていました。がん看護の経験がある参加者から、抗がん剤治療後の症状アセスメントの視点も提示され、多くの意見交換が行われ、多角的な視点で考えることができ患者像が広がっていきました。今後は、精神科と身体科との連携の重要性も確認できました。



長橋病院ホームページより